

第6回二宮町ウィークエンドワークショップの報告

3月20日（日）午後1時半から第6回ウィークエンドワークショップを行いました。

ウィークエンドワークショップでは、これまで「一色小学校の有効活用」についてアイデアを出してきました。3月20日は、前回検討した「(仮称)一色小学校の余裕教室の利活用グランドデザイン案」を以下の様に修正しました。

ウィークエンドワークショップの参加者で、この案に賛同いただける方はお申し出下さい。提案書にお名前を記載させていただきます。

「一色小学校の余裕教室の利活用グランドデザイン」

平成28年3月20日

一色小学校の校区では、少子化、高齢化が進み、人口も減少しています。それに伴い一色小学校では、一学年1～2クラスとなっており、余裕教室が生まれていると想定されます。一方、小学校は、私たちにとって精神的にも物理的にも地域コミュニティの“核”であり“支え”であることから、一色小学校の余裕教室を活用した持続可能な地域コミュニティづくりのアイデアを出し合い、次のようなグランドデザインをまとめましたのでご検討下さい。

- 一、一色小学校の余裕教室を多目的ルーム、地域のサロン、学童保育所等として活用する。
- 二、児童の教育環境、安全環境を確保するため学校教育の場としての小学校施設と地域で活用する余裕教室の区画は区分する。また、管理は地域住民が行い教育委員会や小学校職員の負担は増やさず、児童と地域住民との触れ合いを増やすことを検討する。
- 三、余裕教室を活用することによって、公共施設の統廃合、再配置を行い、維持管理費を低減する取り組みに結びつける。

提案者（賛同いただける参加者の連名）
二宮町ウィークエンドワークショップ参加者

「一色小学校の余裕教室の利活用グランドデザイン」

平成 28 年 3 月 20 日

一色小学校の校区では、少子化、高齢化が進み、人口も減少しています。それに伴い一色小学校では、一学年 1～2 クラスとなっており、余裕教室が生まれていると想定されます。一方、小学校は、私たちにとって精神的にも物理的にも地域コミュニティの“核”であり“支え”であることから、一色小学校の余裕教室を活用した持続可能な地域コミュニティづくりのアイデアを出し合い、次のようなグランドデザインをまとめました。

一、一色小学校の余裕教室を多目的ルーム、地域のサロン、学童保育所等として活用する。

二、児童の教育環境、安全環境を確保するため学校教育の場としての小学校施設と地域で活用する余裕教室の区画は区分する。また、管理は地域住民が行い教育委員会や小学校職員の負担は増やさず、児童と地域住民との触れ合いを増やすことを検討する。

三、余裕教室を活用することによって、公共施設の統廃合、再配置を行い、維持管理費を低減する取り組みに結びつける。

提案者

平成 27 年度二宮町ウィークエンドワークショップ参加者